

# 有機農産物と農薬に関する 消費者意識調査

小売店は消費者ニーズを先取りできるか？

2016年3月

**GREENPEACE**

## はじめに

国際環境NGOグリーンピース・ジャパンは、ミツバチに有害で子どもの発達にも影響が指摘されているネオニコチノイド系農薬の規制に向け、市民の声を政府や企業に届けるキャンペーン活動を展開している。化学農薬や肥料に頼った工業型農業に代わる唯一の解決策として、有機農業や自然農法など生態系と調和した「生態系農業」を提唱しており、政府に対しその価値を再評価し、転換を望む農家への支援強化を求めている。

農家が生態系農業に転換するため、また安全な食材を求める消費者のニーズに応えるために、スーパーマーケットが担っている役割は重要である。

消費者は現在、スーパーマーケットが展開している有機農産物の販売に対してどのような印象を持っているのか。消費者がスーパーマーケットに求める有機農産物のニーズを調べるため、グリーンピース・ジャパンは全国の20代から60代男女、1000人を対象に世論調査を行った。

## 調査結果のまとめ

### 1. 多くの消費者は安全な有機農産物を身近な場所で購買したい

- ・ 普段、有機農産物を購入する人の8割はスーパーマーケットを利用している。
- ・ 有機農産物を頻繁に買う消費者は、安全と健康への関心が高い。
- ・ 野菜の形は多少変でも、8割の人が条件によっては買いたいと回答。

### 2. スーパーマーケットが消費者の期待に応えられていない点は、品揃えと価格

- ・ 有機農産物の購買を妨げる主な理由は価格だが、全体の7割はスーパーマーケットで有機農産物を購入できるならば、1～3割の価格上昇を受け入れると回答している。
- ・ 全体の7割が身近なスーパーマーケットの有機農産物の品揃えは「十分ではない」と回答。
- ・ 「十分ではない」と回答した人の7割は、品揃えが豊富になればスーパーマーケットで有機農産物を買いたいと回答。

### 3. 有機農産物を増やすことはスーパーマーケットの企業価値向上につながる

- ・ 有機農家を応援したいと回答した人は9割を超える。
- ・ 消費者は有機農産物の品揃えが豊富なスーパーマーケットに、有機農家を応援している印象を持つ。
- ・ 消費者は有機農産物の品揃えが豊富なスーパーマーケットに、環境に良いことをしている印象を持つ。

調査期間：2015年12月15日～16日      調査実施機関：楽天リサーチ株式会社  
対象地域：全国  
対象者：青果物（野菜・果物）と米を購入する場所をスーパーマーケットと答えた人の中で、普段週一回以上スーパーマーケットを利用する人  
有効回答数：1000（20・30・40・50・60代の男女を各100人ずつ）



## グリーンピース・ジャパンからの提言

多くの農産物を扱うスーパーマーケットは、環境問題を食から解決する鍵を握っている。有機農産物の取り扱いを増やすことによって、生態系農業を実践する農家を応援し、誰もが安全な農産物を買える選択肢を拡充することができるからである。それはスーパーマーケットにとっても、環境に優しく食の安全へ真摯に取り組む企業として価値を向上させ、新たな顧客ニーズを取り込むという可能性を意味している。

今回の調査結果から、グリーンピース・ジャパンはスーパーマーケットなどの小売店に次の2点を提言する。

### 今後、スーパーマーケットは環境保護と有機農家支援で積極的に貢献していくべき

有機農産物が豊富なスーパーマーケットは、環境に優しく、有機農家を支援しているという消費者のニーズに応えた先進企業としてのイメージを得ることができる。ネオニコチノイド系農薬によるミツバチ減少などの影響が広がるなか、花粉媒介者が日本の農業にもたらす利益は年間約4700億円との試算が出されている(注)。この事態に早く手を打たなければ、日本の農業に対する影響は甚大だ。スーパーマーケットは農薬による環境汚染の問題意識を持ち、しかるべき行動を始めるべきだ。

### 消費者に有機農産物の価値を伝えつつ、農薬に関する情報開示を強化する

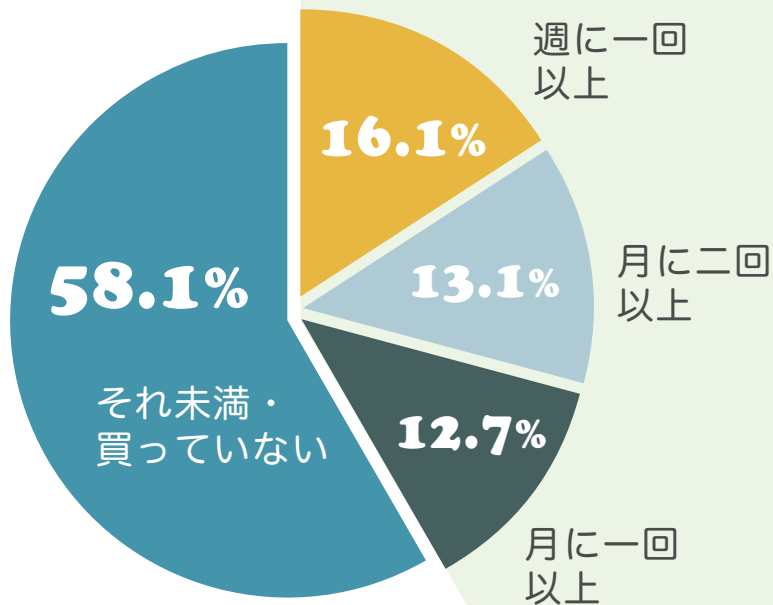
有機農産物を積極的に購買している消費者は、普段スーパーマーケットで野菜を買う時も、農薬の有無を意識している。生産者と消費者をつなぐ窓口であるスーパーマーケットには、農薬による健康や環境への影響、有機農産物の価値を伝える情報を提供することで、購買時に農薬の有無を意識し、有機農産物の価値を理解し選択してくれる消費者を増やす試みが求められる。

(注) 国立研究開発法人農業環境技術研究所、農作物の花を訪れる昆虫がもたらす豊かな実り  
－ 日本の農業における送粉サービスの経済価値を評価 － 2016年2月4日  
<http://www.niaes.affrc.go.jp/techdoc/press/160204/>

# 有機農産物の購買傾向と意識

消費者は有機農産物を、どれくらいの頻度で/どこで/何を魅力に買っているのか？

## Q1. 有機野菜を買う頻度は？



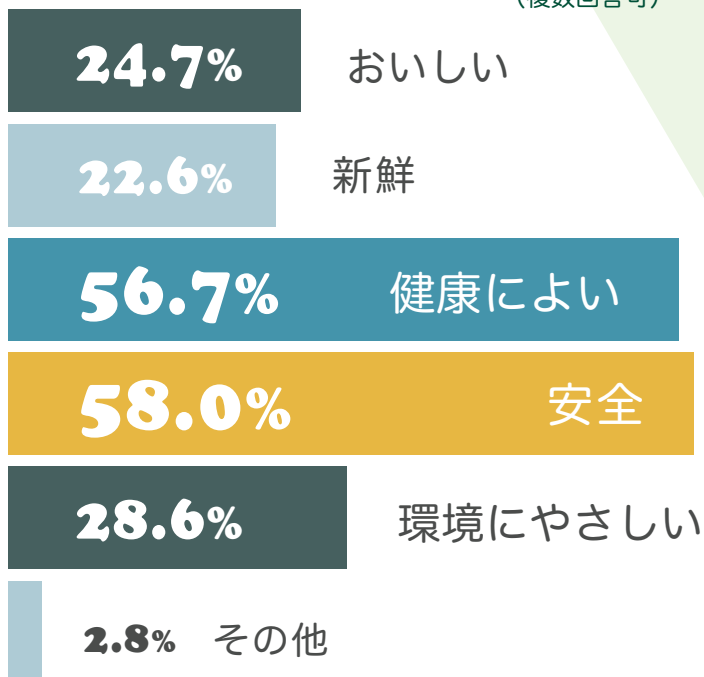
\*Q1で「週に一回以上・月に二回以上・月に一回以上買う」と答えた回答者にたずねた（複数回答可）

## Q2. 普段どこで有機野菜を買いますか？



## Q3. 有機野菜に対する印象は？

（複数回答可）

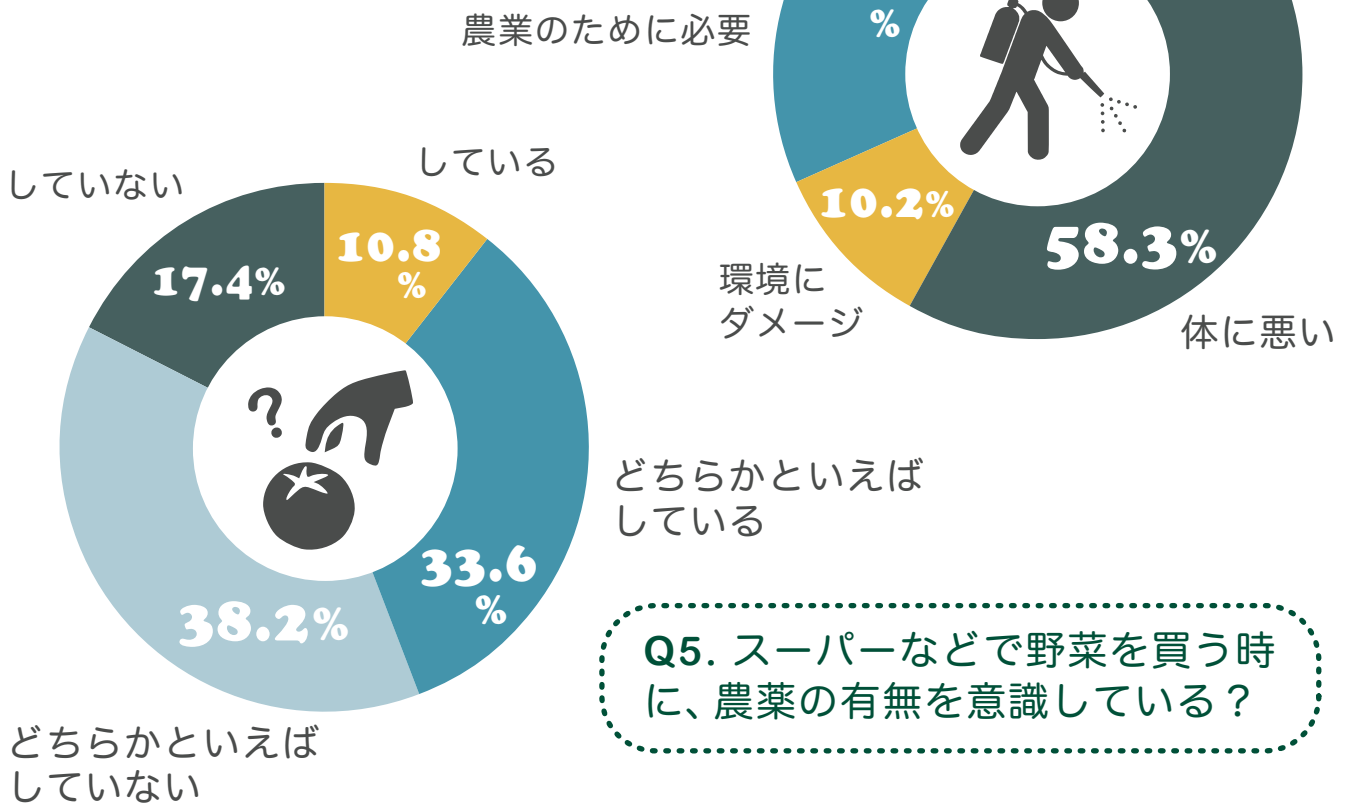


👁️ 有機野菜を月に一回以上買っている消費者は全体の4割。うち、8割が有機野菜を買う場所として、スーパーマーケットと回答。有機野菜を「安全」で「健康に良い」と考えている消費者は全体の約6割。

# 食の安全と農薬への意識

消費者は農薬に対してどのような意識を持っているのだろうか？

**Q4. 農薬に対するイメージにもっともあてはまるものは？**



**Q5. スーパーなどで野菜を買う時に、農薬の有無を意識している？**

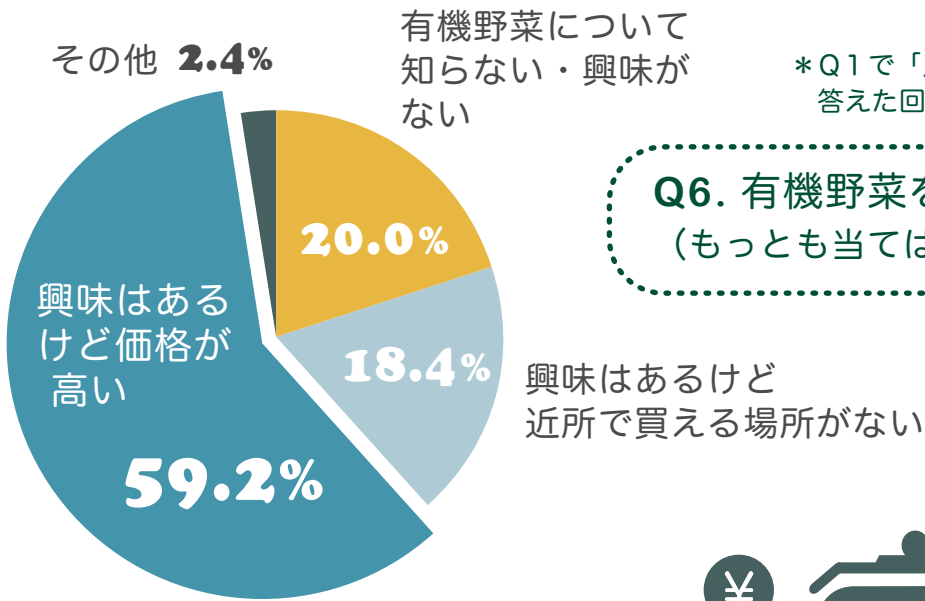
有機農産物を積極的に購買している消費者は、普段スーパーなどで野菜を買う時も農薬の有無を意識しているか？ \*Q1とQ4をクロス集計

		(数)	週一回以上	月二回以上	月一回以上	それ未満・ 買っていない
スーパーなどで野菜を買う時に、農薬の有無を意識している？	している	(108)	<b>53.7</b>	25.0	8.3	13.0
	どちらかといえばしている	(336)	22.0	23.5	19.9	34.5
	どちらかといえばしていない	(382)	5.8	5.0	12.0	<b>77.2</b>
	していない	(174)	4.0	3.4	2.9	<b>89.7</b>
全体		(1000)	16.1	13.1	12.7	58.1

- ☞ 農薬のイメージは「体に悪い」という回答が一番多く、全体の6割にのぼる。
- ☞ 有機農産物を積極的に買う消費者は、普段スーパーで野菜を買う時も農薬の有無を意識している。一方、有機農産物を買わない消費者は、スーパーの買い物でも農薬を意識していない。

# 消費者はなぜスーパーマーケットで有機農産物を買えないのか？

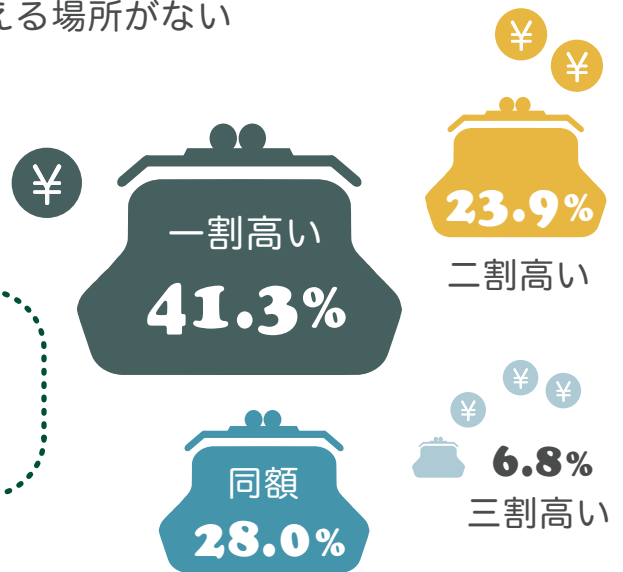
## 価格



\*Q1で「月に一回未満・買っていない」と答えた回答者にたずねた（複数回答可）

Q6. 有機野菜を買わない理由は？  
（もっとも当てはまるものを1つ選択）

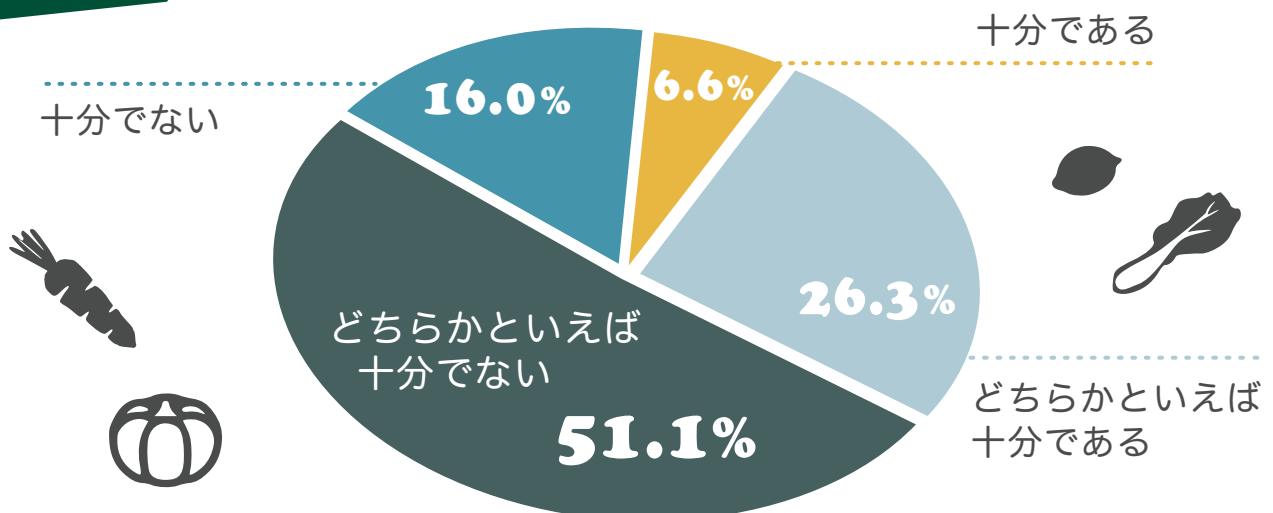
Q7. 身近なスーパーで、普通の野菜と有機野菜があれば、どれくらいの値段（価格差）なら有機野菜を選ぶ？



👉 全体の6割が「価格」が理由で有機野菜を買わないと回答。しかし、全体の7割の消費者は身近なスーパーで買えるならば、1～3割の価格上昇を受け入れる。

## 品揃え

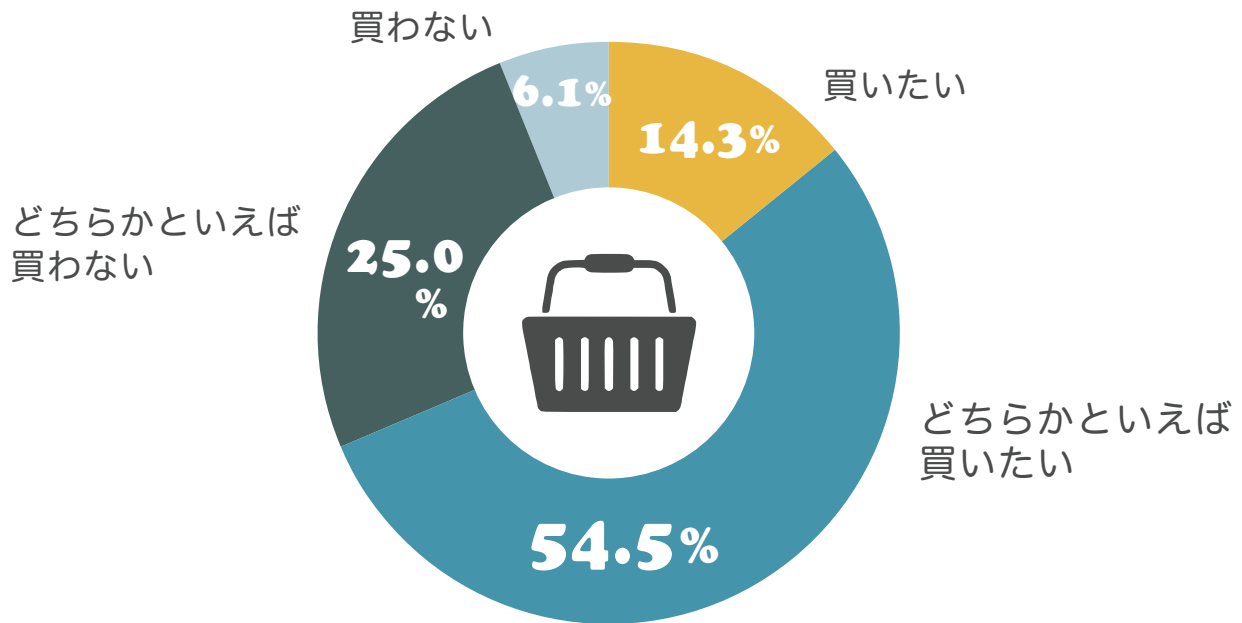
Q8. 身近なスーパーの有機野菜の品揃えは十分？



# 消費者はなぜスーパーマーケットで有機農産物を買えないのか？

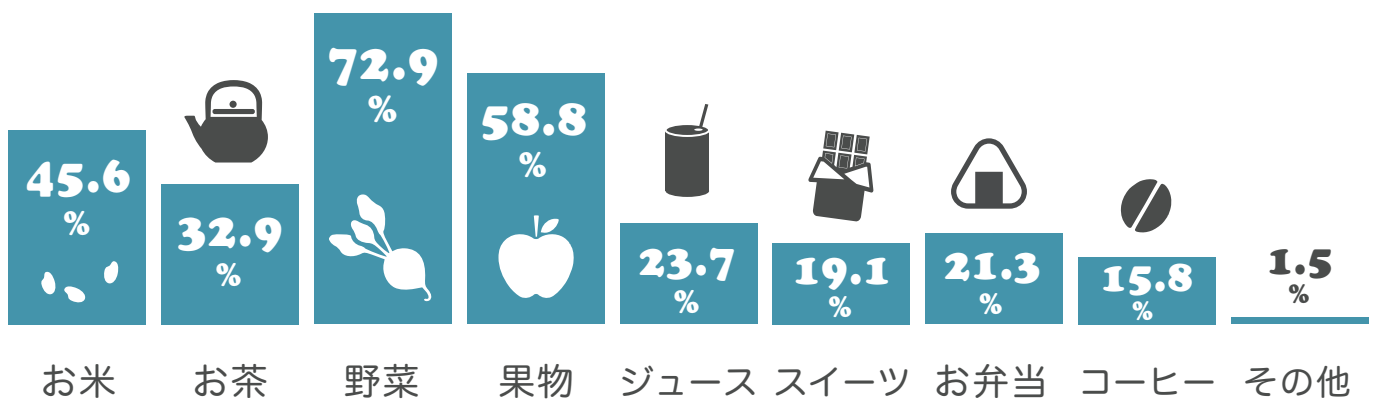
\* Q8で「どちらかといえば十分でない・十分でない」と答えた回答者にたずねた

**Q9. 身近なスーパーの有機野菜の品揃えがより豊富になったら、有機野菜を買いたい？**



**Q10. 今後、どのようなオーガニック（有機の）商品が増えてほしい？**

(複数回答可)



☞ 全体の約7割はスーパーの有機野菜の品揃えは十分だと思っておらず、そう思う人のうち約7割は、品揃えが豊富になればスーパーで有機野菜を買う意思がある。  
 ☞ 今後、増えて欲しいオーガニック商品として、野菜・果物を選ぶ人が多く、野菜が最も多かった。消費者は今のスーパーの有機野菜の品揃えに満足していない。

# スーパーマーケットに求められる今後の取り組み

消費者はどのような商品を探しているか？

写真のように稲の穂を虫が噛むとお米に黒い筋がはいることがあります（食味は変わりません）。そのため、多くの田んぼでは無人ヘリなどで稲に農薬がまかれています。



Q11. このお米の黒い斑点について、あなたの考えにもっとも合うものは？

見た目も大事なので農薬をかけてもいい

46.8%

見た目も大事だが環境も大事なので、農薬をかけない方法があるなら、そういうお米でも選びたい

39.1%

黒い筋の入ったお米が茶碗1杯に2~3粒混じっても農薬をかけない方がいい

14.1%



Q12. 右の写真のような虫食いの野菜や形の整っていない野菜を買うことに、抵抗がありますか？



43.9%

価格によっては購入する

35.9%

抵抗はない

20.2%

抵抗がある

- ☞ 8割以上の消費者は農薬をかけない方法で栽培されたお米を選びたい。
- ☞ 約8割の消費者は、見た目が良くない野菜でも購入すると答えており、全体の約4割は（低）価格を条件としている。

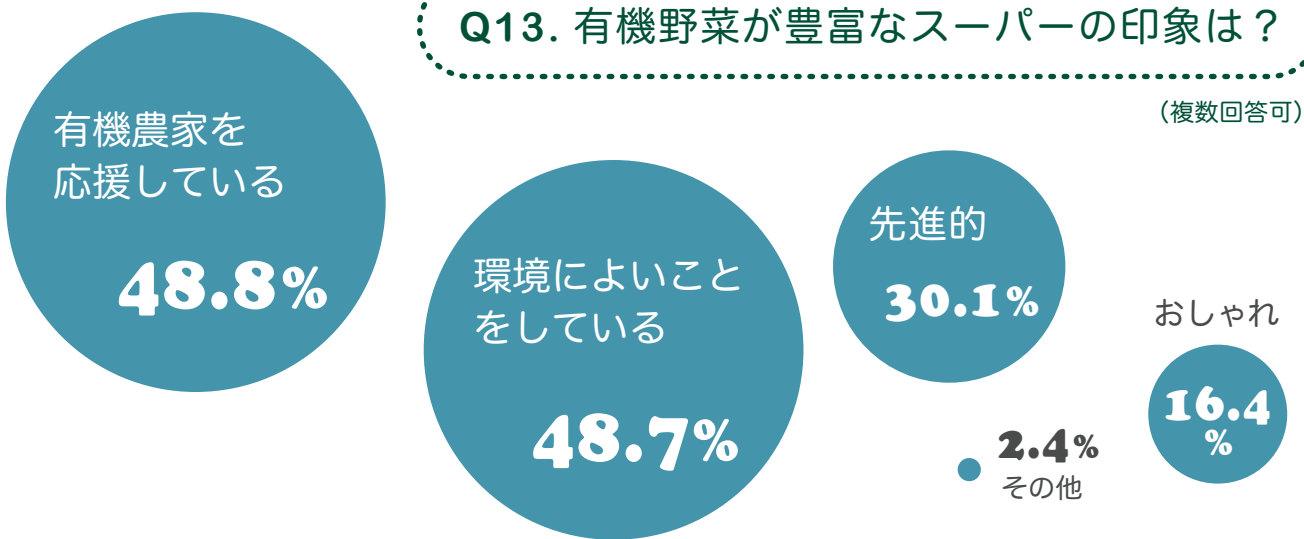


## スーパーマーケットに求められる今後の取り組み

有機農産物が豊富なスーパーの企業価値とは？

### Q13. 有機野菜が豊富なスーパーの印象は？

(複数回答可)



### Q14. 有機農業を行っている農家さんを応援したい？

どちらかといえばいいえ

いいえ 1.1%

どちらかといえばはい

はい

63.6%

有機野菜を積極的に購入する

27.2%

有機野菜のよさを口コミなどで広める

26.3%

自然食レストランなどに積極的に行く

6.1% 農園に行って手伝う

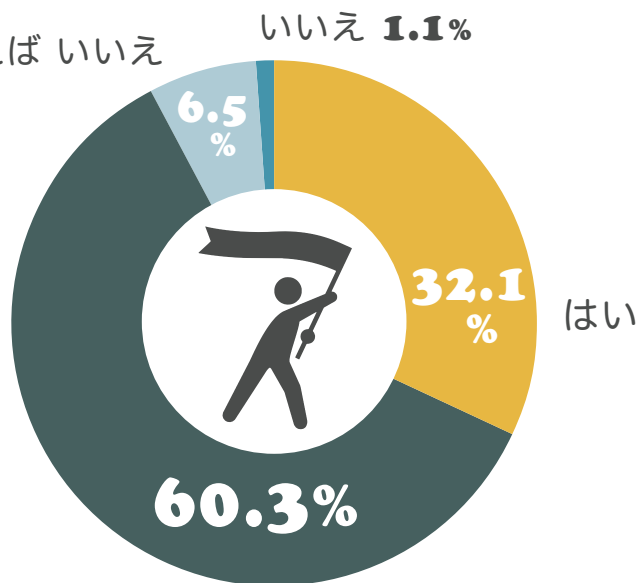
9.7%

子どもをオーガニックの給食を提供している学校・幼稚園・保育園に通わせる、または給食に有機農産物を取り入れてもらうように働きかける

1.9% その他

### Q15. どのように応援する？

(複数回答可)



👉 有機野菜の品揃えが豊富なスーパーマーケットには、環境に良いことをして、有機農家を応援している印象があると答えた人がそれぞれ全体の約5割にのぼった。  
 👉 9割以上の消費者は有機農家を応援したいと回答し、有機野菜を購入することで応援したいと回答した消費者は全体の6割以上。

## 調査結果

Q1. あなたが有機野菜を買う頻度を教えてください。

	数	%
週に一回以上	161	16.1
月に二回以上	131	13.1
月に一回以上	127	12.7
それ未満・買っていない	581	58.1
全体	1000	100

Q4. 次のうち、あなたの農業に対するイメージに最もあてはまるものを一つ選んでください。

	数	%
体に悪い	583	58.3
環境にダメージ	102	10.2
農業のために必要	215	21.5
わからない	100	10.0
全体	1000	100

Q7. あなたは、身近なスーパーで普通の野菜と有機野菜があれば、どれくらいの値段なら有機野菜を選びますか。

	数	%
三割高い	68	6.8
二割高い	239	23.9
一割高い	413	41.3
同じ	280	28.0
全体	1000	100

Q10. 今後、どのようなオーガニック(有機)の商品が増えてほしいですか。(いくつでも)

	数	%
お米	456	45.6
お茶	329	32.9
野菜	729	72.9
果物	588	58.8
ジュース	237	23.7
スイーツ	191	19.1
お弁当	213	21.3
コーヒー	158	15.8
その他	15	1.5
全体	1000	100

Q2. 前問で「週に一回以上・月に二回以上・月に一回以上買う」とお答えの方にお伺いします。あなたは普段どこで有機野菜を買いますか。(いくつでも)

	数	%
宅配販売(生協 宅配を含む)	61	14.6
スーパー	333	79.5
自然食品専門店	75	17.9
コンビニ	9	2.1
農家から直接	58	13.8
その他	12	2.9
全体	419	

Q5. あなたはスーパー等で野菜を買うときに、農業の有無を意識していますか。

	数	%
している	108	10.8
どちらかといえばしている	336	33.6
どちらかといえばしていない	382	38.2
していない	174	17.4
全体	1000	100

Q8. あなたの身近なスーパーの有機野菜の品揃えは十分だと思いますか。

	数	%
十分である	66	6.6
どちらかといえば十分である	263	26.3
どちらかといえば十分でない	511	51.1
十分でない	160	16.0
全体	1000	100

Q11. (斑点米の写真と説明)これについて次のうちあなたの考えに最もあうものを一つ選んでください。

	数	%
黒い筋の入ったお米が茶碗1杯に2~3粒混じっても農業をかける方がいい	391	39.1
見た目も大事なので農業をかけてもいい	141	14.1
見た目も環境も大事なので、穂に農業をかける方法があるならそういうお米を選びたい	468	46.8
全体	1000	100

Q3. あなたの有機野菜に対する印象をお教えてください。(いくつでも)

	数	%
おいしい	247	24.7
新鮮	226	22.6
健康によい	567	56.7
安全	580	58.0
環境にやさしい	286	28.6
その他	28	2.8
全体	1000	

Q6. Q1で「それ未満・買っていない」とお答えの方にお伺いします。有機野菜を買わない理由として、次のうち最もあてはまるものを一つ選んでください。

	数	%
有機野菜について知らない・興味が無い	116	20.0
興味があるけど近所で買える場所がない	107	18.4
興味があるけど価格が高い	344	59.2
その他	14	2.4
全体	581	100

Q9. 前問で「どちらかといえば十分でない・十分でない」とお答えの方にお伺いします。身近なスーパーの有機野菜の品揃えがより豊富になったら、有機野菜を買いたいですか。

	数	%
買いたい	96	14.3
どちらかといえば買いたい	366	54.5
どちらかといえば買わない	511	25.0
買わない	41	6.1
全体	671	100

Q12. (無農薬トマトの写真)あなたは、写真のような虫食いの野菜、形の整っていない野菜を買うことに抵抗がありますか。

	数	%
ある	202	20.2
ない	359	35.9
価格によっては購入する	439	43.9
全体	1000	100

Q13. 有機野菜が豊富なスーパーの印象をお教えてください。(いくつでも)

	数	%
おしゃれ	164	16.4
環境によいことをしている	487	48.7
先進的	301	30.1
有機農家を応援している	488	48.8
その他	24	2.4
全体	1000	

Q14. あなたは有機農業を行っている農家さんを応援したいですか。

	数	%
はい	321	32.1
どちらかといえばはい	603	60.3
どちらかといえばいいえ	65	6.5
いいえ	11	1.1
全体	1000	100

Q15. 前問で「はい・どちらかといえばはい」とお答えの方にお伺いします。どのようにして応援したいですか。(いくつでも)

	数	%
有機野菜を積極的に購入する	588	63.6
有機野菜の良さを口コミなどで広める	251	27.2
自然食レストランなどに積極的に行く	243	26.3
農園に行って手伝う	56	6.1
子どもをオーガニック(有機の)給食を提供している学校・幼稚園・保育園に通わせる、または子どもの給食に有機農産物をとりいれてもらうように働きかける	90	9.7
その他	18	1.9
全体	924	

発行・問い合わせ先

国際環境NGO グリーンピース・ジャパン  
 〒160-0023 東京都新宿区西新宿8-13-11 NFビル 2F  
 Tel. 03-5338-9800 Fax. 03-5338-9817

[www.greenpeace.org/japan](http://www.greenpeace.org/japan)

食と農業担当：石原 謙治・関根 彩子  
 広報担当：土屋 亜紀子

紙面デザイン：cabin8design